

第四回農業戦略本部

平成28年10月26日

会議録

場所	委員会開催室
参加者	参加者 : 市長、山形市農業協同組合 代表理事組合長、山形農業協同組合 代表理事組合長、女性農業者 代表、山形大学東北創生研究所 准教授、J A全農山形 県本部長、やまがた農業支援センター 専務理事 事務局 : 農林部長、農政課長、農業振興総括主幹、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、担い手育成係長、地域農業係長 主幹（農業振興計画担当） オブザーバー : 山形農協 営農経済部長、J A全農山形園芸振興課長

○市長より

今回は「戦略農産物」の決定事項をいかに推進していくかを討議いただき、より実践的な提案に向けた農業戦略本部プロジェクトチーム設置を決定しご決議いただいております。

本日は、平成29年度に向けた重点施策についてご討議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

1 議題

【決議事項】

- (1) 山形市農業戦略本部における平成29年度重点施策について
- (2) 山形大学との連携について

【報告事項】

- (1) 山形市農政課の平成29年度補助事業について(案)
- (2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける農畜産物のPRについて (案)

【決議事項】

- (1) 山形市農業戦略本部における平成29年度重点施策について

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

◆戦略農産物について

- ・戦略農産物のPRとして商品デザインの強化が必要と考える。

◆新規就農者の育成・確保について

- ・新規就農者へ農地に関する情報をもっと提供できるよう関係団体と連携しながら、強化する必要がある。
- ・新規就農者のためのワンストップ窓口の開設は有効な手段と考える。
- ・耕作放棄地になる前に所有者が管理料を支払い、耕作希望者へつなげるような方策が必要である。

◆中山間地域の振興について

- ・中山間地域での新規就農者の確保が困難な上、有害鳥獣の農作物被害が深刻なのでその対応が急務である。
- ・戦略農産物を考える上で、中山間地域は全く別の品目を考えなければならない。
- ・代替わりなどで自らの農地を特定できない場合が増え、耕作放棄地解消へ取り組む前に頓挫する場面がある。

○決議事項

(1)：原案通り決定

(2) 山形大学との連携について

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・大学と連携する場合、お互いが協力しやすい方法で連携できるよう進めてほしい。
- ・山形大学のほかにも、研究機関等と積極的に連携を図っていく必要がある。

○決議事項

(2)：原案どおり決定。

【報告事項】

(1) 山形市農政課の平成29年度補助事業（案）

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・平成29年度補助事業における確実な予算確保をお願いしたい。

(2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける農畜産物のPRについて（案）

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・農畜産物のPRの対象によって売り込み方が全く変わってくる。
- ・12月に決定される食料調達基準を待ってからの対応となるが、提供する農畜産物の安全安心は当然で、最後は価格によって決定される。
- ・PRの方法については、引き続き情報収集を図っていく必要がある。